

ウイザス

Topics

「心が動いた瞬間を大切に」

未来の理工系女性へのメッセージ

No.120



芦屋市男女共同参画センター通信
2025年 冬号

With us

“共に生きる－男女共生社会－”の
理念を表しています。

進路選択は勇気がいること
多いですが、自分の好きなことや
したいことにまっすぐ進んで
いいと思います。

進路を考えるうえで
自分の内側にある
“好き”や“興味”が
きっと大きなヒントに
なるはずです。

芦屋市役所 職員

「心が動いた瞬間を大切に」 未来の理工系女性へのメッセージ

10月21日に、高市早苗氏が内閣総理大臣に就任し、日本で初めての女性首相が誕生しましたが、この出来事は、日本における男女共同参画社会の実現に向けて大きな一歩となりました。

みなさんは、子どもの頃、将来の夢はどんな職業に就くことでしたか？内閣府男女共同参画局では、女子中高生等の理系分野への進路選択を応援するリコチャレという取組を行っています。

そこで今回は、性別により選択肢を狭めることなく、将来を自由に描くことを応援するため、次世代を担う方々にとって世代が近く、芦屋市役所で奮闘している女性の新任理工系職員にインタビューを行いました。

女性だけでなく、性別に関わらず、進路や職業選択の際に参考にしていただける情報や考え方なども聞かせてもらいました。

CONTENTS

- 01 ■ 「心が動いた瞬間を大切に」
未来の理工系女性へのメッセージ
- 02 ■ 芦屋市役所で働く女性の新任理工系職員にインタビュー
- 03 ■ 講座レポート・講座等のご案内
- 04 ■ お知らせ ■ 女性相談のご案内等

INTERVIEW

自分で考えたことが社会に残る

理系にすすんだ理由

昔からモノづくりが好きで、高校では数学や生物の授業がますます面白く感じられるようになりました、「もっと深く学びたい」という思いが強まり、理工系にすすむことを決めました。

進路決定の時期

進路を決めたのは、高校2年生の冬ごろです。目に見える変化に強く興味を持っていたことを思い出しました。そこで、街の風景や人の暮らしに直接関わる建築・土木分野なら、その変化を一番実感できるのではと思い、進路を決めました。

進路を告げたときの周囲の大人の反応

建築・土木系となると、どうしても「男性社会」や「重労働」といったイメージがあるようで、少し心配もされました。それでも、自分の意思をしっかり伝えることで、最終的には応援してくれるようになりました。

自分の好きなことや、やりたいことによっすぐすすむ

理系にすすんだ理由

高校で文系（英語）を学んでいたので、大学への進路として文理融合の学科に進むことに不安はありませんでしたが、自分の得意な英語を活かして、好きなことや学びたいこと（建築とまちづくり）を大事にしたいと思い、受験を決めました。

土木職に就職した理由は、大学時代の学びを活かしたいと思っていたところ、芦屋市は土木職の受験資格の範囲が広く、都市計画や建築を学んできた私でも受験できると知ったからです。

進路決定の時期

大学：高校3年生の夏まで迷っていて、秋に進路を決めました。
就職：理工学系に進むと決めた時期は大学2年生だったと思います。3年生までは民間の建築系の職種を受けていましたが、4年生の春に土木職を受けられると知り、芦屋市を志望することにしました。

理工系分野にすすむことの魅力

自分で考えたことが、形になって社会に残るところです。建築・土木分野では、街の風景や人の暮らしに直接関わることができます。目に見える変化を実感できます。実際にモノをつくることで人の役に立てるという点に、やりがいを感じます。



仕事内容

将来のまちの姿を構想するために調査や企画、交通やバリアフリーに関する構想の検討を行っています。まちの成長や日々の生活環境に関わる仕事だからこそ、地域の変化や可能性を日々の業務の中で実感できるのが魅力です。

| ある1日の流れ | |
|---------|-------------------------------|
| 9:00 | 業務開始 ToDoリストの確認 メールチェック |
| 10:00 | 窓口対応 |
| 12:00 | 昼食 |
| 14:00 | 都市計画に関する調査 |
| 16:00 | 打ち合わせ |
| 17:30 | 退勤 |

働くにあたり女性であること 苦労すること

特に苦労を感じたことはありません。私の職場には女性の技術職員が多く、性別に関わらず、職員同士で自然と協力し合う環境で働くことができています。



進路を告げたときの周囲の大人の反応

土木職は特に現場のイメージが強く、親からは「大丈夫？」と心配されました。それでも自分の意思を伝えると、最終的には「やりたいことをやればよい」と応援してくれるようになりました。



理工系分野にすすむことの魅力

社会に形として残るインフラの整備などを担えることだと思います。

仕事内容

市内の街路樹や公園樹の維持管理と、公園の補修工事などを担っています。

| ある1日の流れ | |
|---------|------------------------|
| 9:00 | 業務開始 メールチェックなどの事務作業 |
| 10:00 | 現場確認 |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 市民からの要望への回答や事務処理 |
| 15:30 | 報告書チェック |
| 17:30 | 退勤 |

働くにあたり女性であること 苦労すること

性別に関わらずではありますが、仕事をする中で、自分の体調と自分に与えられた役割の両方を踏まえ、自分自身としっかり向き合うことが大事だと改めて感じています。芦屋市は想像していたより女性の技術職が多くだったので安心して働くことができています。



講座レポート 実施しました！

幼児期から始めよう！親子で学ぶ性教育講座

9月27日（土）

未就学児と保護者を対象に親子で楽しみながら性教育について学ぶ講座を開催しました。こどもが自分の体を守ったり、自己肯定感を高める機会となり、参加した保護者からは「大人でもあまり深く知らないことがあります、すごく興味深かったです。」という満足の声が聞かれました♪



赤ちゃんが産まれるまでの様子を人形を使って説明しました。

【講師】にこ助産院 助産師 岡崎 智津美 氏



市民企画講座

「こどもの“好き”を大事にしたい
いきもの・たべもの・のりもの絵本がいっぱいの
絵本の読み聞かせ」（全3回）



- ①10月4日（土）
- ②11月8日（土）
- ③11月22日（土）

【企画・運営】NPO法人「絵本で子育て」センター 絵がお

市民グループの皆さんにより企画・運営された市民企画講座 第1回の「いきもの絵本かいっぱい」が開催されました。

親子のふれあい遊びや手遊びを織り交ぜながら、絵本の読み聞かせの実践と紹介をしました。受講者同士の交流も行われ、親子で楽しんでいらっしゃいました。

ファンをつくる！SNS活用術

9月13日（土）



商品やサービスのPR、顧客獲得に必要な「SNS」の活用方法について学ぶ講座を実施しました。参加者からのアンケートでは「各SNSの特性に合わせた活用方法を知ることができ、自身のビジネスにすぐに活用はじめられそうです」という感想をいただきました♪

講座等のご案内

予約 要予約
無料 受講料無料

一時保育あり（要予約）
対象：0歳6ヶ月～未就学児
保育料：一人につき300円

子育てのイラッ！ムカッ！カチン！の対処術～自分と家族のためのアンガーマネジメント～

令和7年12月20日（土）
午前10時～11時30分

☆申込みは上記の二次元コードへ。

☆講座内容等は変更となる場合がございます。
最新の情報は、市ホームページをご覧ください。



講座情報は
こちら

時短家事！「名もなき家事」の見える化で生まれる家族じかん

令和8年2月7日（土）
午前10時～11時30分

無料 予約

「怒り」と上手に向き合い、子育て中の後悔をなくすための講座です♪



旧宮塚町住宅 小さなリニューアルマルシェ

令和8年2月23日（月・祝）
【雨天順延：3月1日（日）】

参加無料 入退場自由
場所：旧宮塚町住宅 北側敷地

活動をさらに一步すすめていきたい女性たちが出店するマルシェです。

詳細はこちら→

お知らせ ◀ 市章のパープル・ライトアップを実施しました!



「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11月12日～25日）にちなみ、市役所の市章を紫色にライトアップするパープル・ライトアップを実施しました。パープル・ライトアップには、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。

理工チャレンジ

～女子中高生・女子学生の理系分野への進路～

「リコチャレとは？」

女子中高生・女子学生の皆さんのが、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択（チャレンジ）することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。

「理工系って何だろう？」

内閣府ホームページでは、イベント情報や、理工系分野で活躍する女性からのメッセージ紹介などが掲載されています。ぜひ見て、聞いて、体験してみましょう！



▲内閣府ホームページは
こちら



男女共同参画センター1階の「情報コーナー」では、図書の貸出をしています。ひとり2冊2週間まで、どなたでも借りられます。

※初回登録時には、名前・住所を確認できる本人確認書類をご提示ください。



「情報コーナー」の
詳細はこちら

秘密厳守、面接相談、相談無料
「こんなことで…」と思わずにはお電話ください。

女性のための相談窓口

予約専用電話 0797-38-2022

【予約受付時間】月曜日～土曜日
午前9時～午後5時（祝日、12/28～1/4を除く）

一時保育
あり

要予約

心の悩み相談

女性の抱える生きづらさやさまざまな悩みを女性のフェミニストカウンセラーがゆっくりお聞きし、心の整理をお手伝いします。

第1・第3火曜日
第2・第4金曜日
午後1時～午後4時
(1人50分)

家事相談

離婚・養育費・相続などの夫婦・親族間の悩み相談に女性の元家庭裁判所調停委員が応じます。

第3金曜日
午前11時～午後4時
(1人50分)
※調停中及び弁護士に依頼している案件は相談不可

法律相談

夫からの暴力や離婚問題、家族関係のトラブルやセクハラなどの法律上の相談に女性の弁護士が応じます。

偶数月：第1水曜日
奇数月：第2土曜日
午後2時～4時
(1人30分)
※1案件1回限り・係争中及び弁護士に依頼している案件は相談不可

女性のためのステップ相談 (女性活躍相談)

再就労・起業・地域活動をしたいと考えている女性からの相談に女性のキャリアカウンセラーが応じます。

月・火・水・金曜日
午前9時～午後5時
(1人50分)
※上記の相談日以外を希望の場合は要相談

● 一時保育あり（無料・要予約）

● 場合によって日時の変更があります。ホームページやお電話でご確認ください。

芦屋市DV相談室（芦屋市配偶者暴力相談支援センター）

配偶者やパートナーからの暴力に悩んでいる方

DV相談

0797-38-9100

～ひとりで悩まずお電話ください～

【受付時間】月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）午前9時～午後5時
【電話・面接相談】秘密厳守、相談無料、一時保育あり（無料・要予約）

芦屋市女性サポート相談室

困難な問題を抱えている女性

女性サポート相談

0797-38-9130

ウィザス

No.120

令和7年12月発行（冬号）

企画・発行

芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしゃ

芦屋市
ホームページ

T 659-0064
兵庫県芦屋市精道町8番20号（市役所分庁舎1・2階）
TEL: 0797-38-2023 / FAX: 0797-38-2175

Eメール: josei-ce@city.ashiya.lg.jp

■開館 月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分
(窓口受付時間 午後5時まで)

■休館 日曜日・祝日・12月28日～1月4日



『ウィザス』の
バックナンバーはこちら

